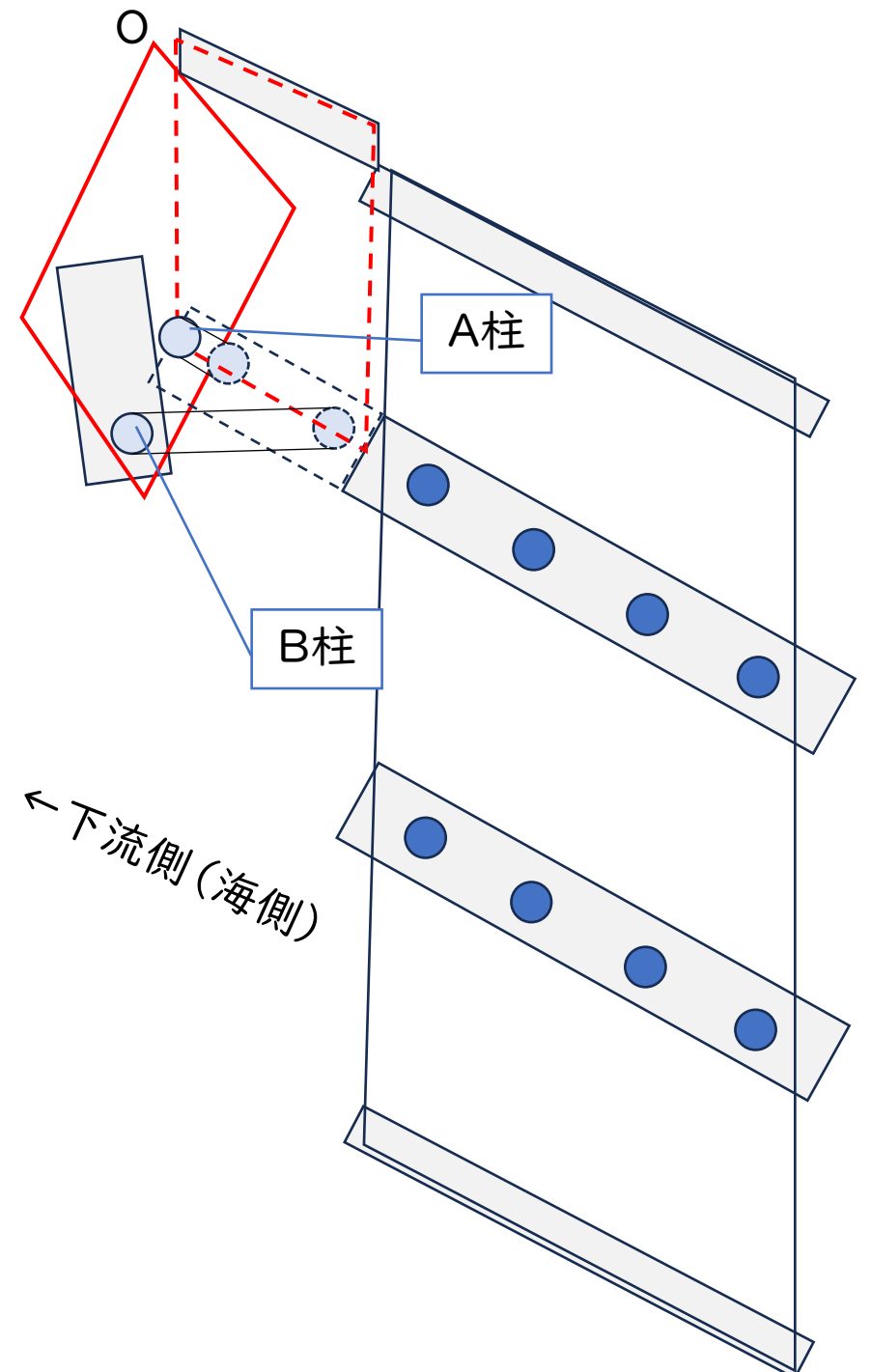


# 2024年能登半島地震被害調査速報 志賀町酒見地区道路橋拡幅部落橋被害

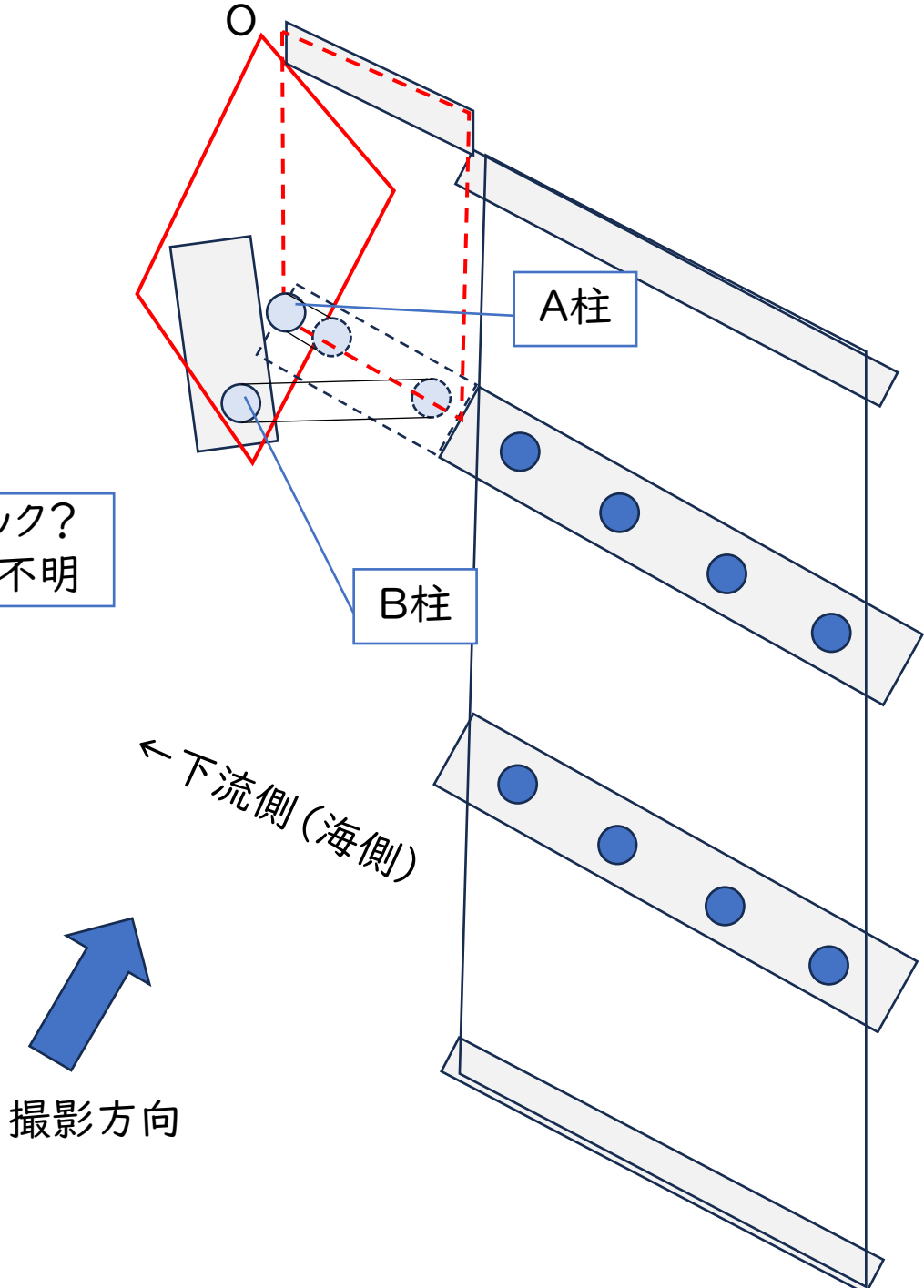
- 調査日:2024年1月9日
- 所在地:37°09'05.8"N 136°41'59.9"E
- 〒925-0564 石川県羽咋郡志賀町酒見
- <https://maps.app.goo.gl/NdWoUWeiRzaK64Wb6>
- 調査者  
西岡英俊(中央大学,地盤工学会調査団基礎構造物主査)  
渡邊健治(東京大学)  
山栗祐樹(中央大学)

# 志賀町 道路橋拡幅部の落橋被害

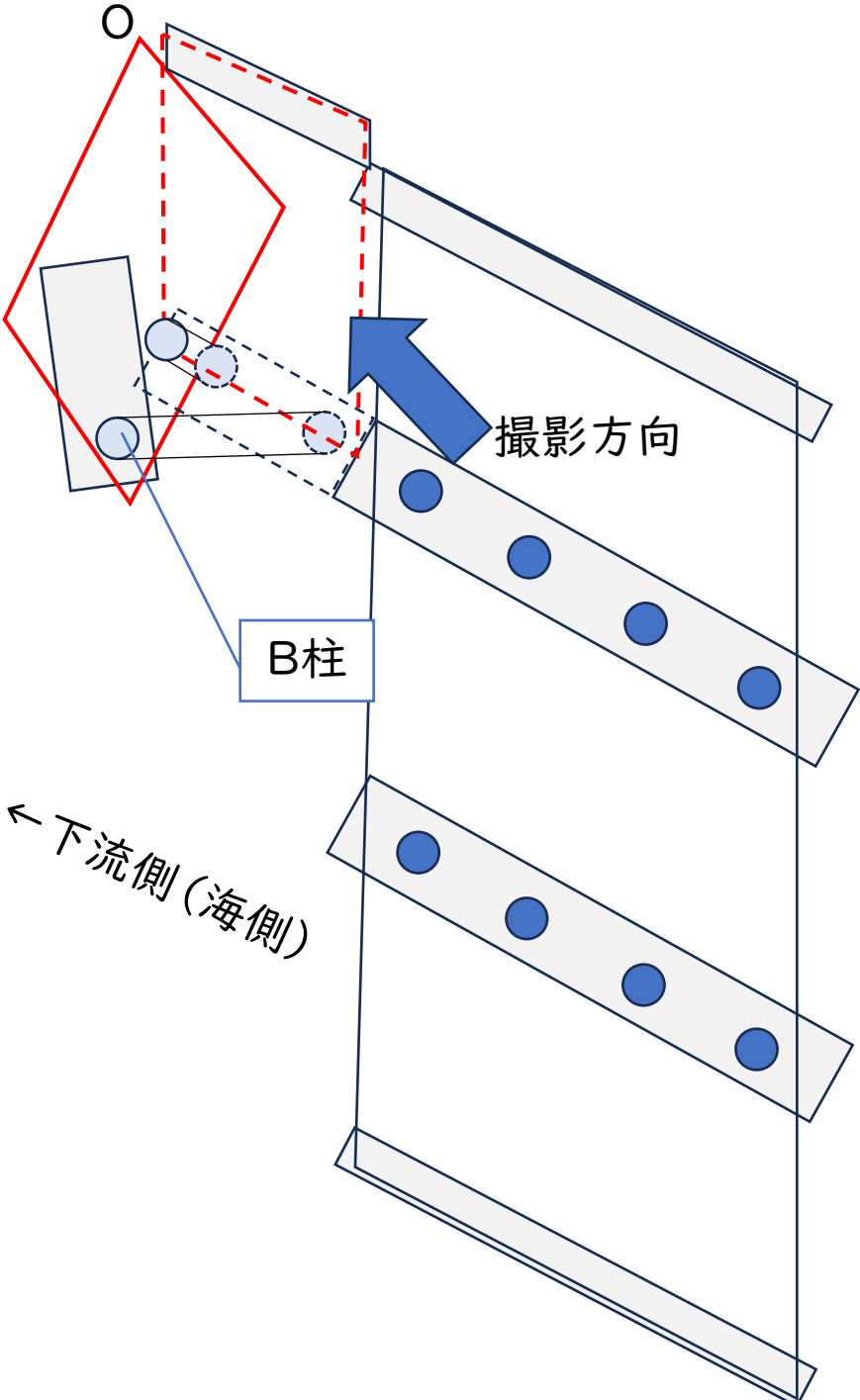
- 斜角のコンクリート橋で、3径間の道路の拡幅部で、1径間にのみ掛かる桁のみ落橋
- 鋭角端（図中O点）を起点に回転したように見える
- 拡幅部は2柱式のコンクリート製のパイルベント橋脚、図中A柱は頭部が折損（せん断破壊？）し、桁受け梁と分離して傾斜（柱下部の折損か基礎の傾斜かは不明）、図中B柱は頭部で折損（曲げ破壊？）して完全に倒壊（倒壊状況からすれば、基礎の傾斜よりは柱基部での曲げ破壊と思われる）。
- 橋台背面の沈下量は金沢市内よりは大きいものの応急補修を行えば走行可能な程度で、隣接する他の橋梁と同程度であった（当該橋梁は落橋していることもあり補修されていなかった）
- 河口近くの橋梁であり、津波遡上範囲だった可能性はある。ただし、この橋梁よりもう一つ海側の橋梁は車両通行が可能であり、津波遡上による大きな被害は無かったようである。当該橋梁の橋脚にも津波遡上の痕跡（津波漂流物の絡まり）は見られなかったので、引き波によって下流側に倒されたというメカニズムではないと考えられる。
- 橋軸直角方向（下流側）への慣性力が主たる外力であったと考えられる。



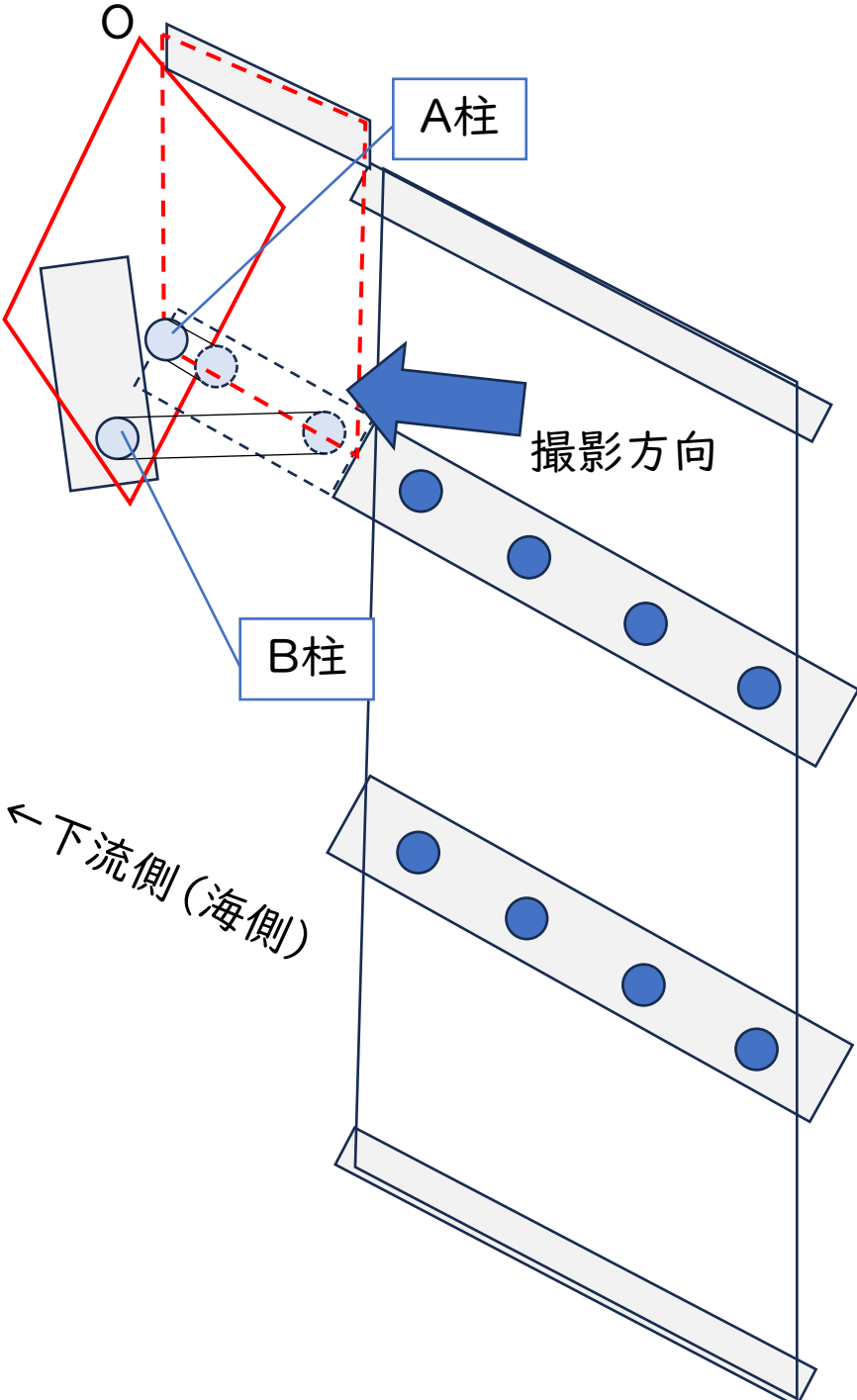
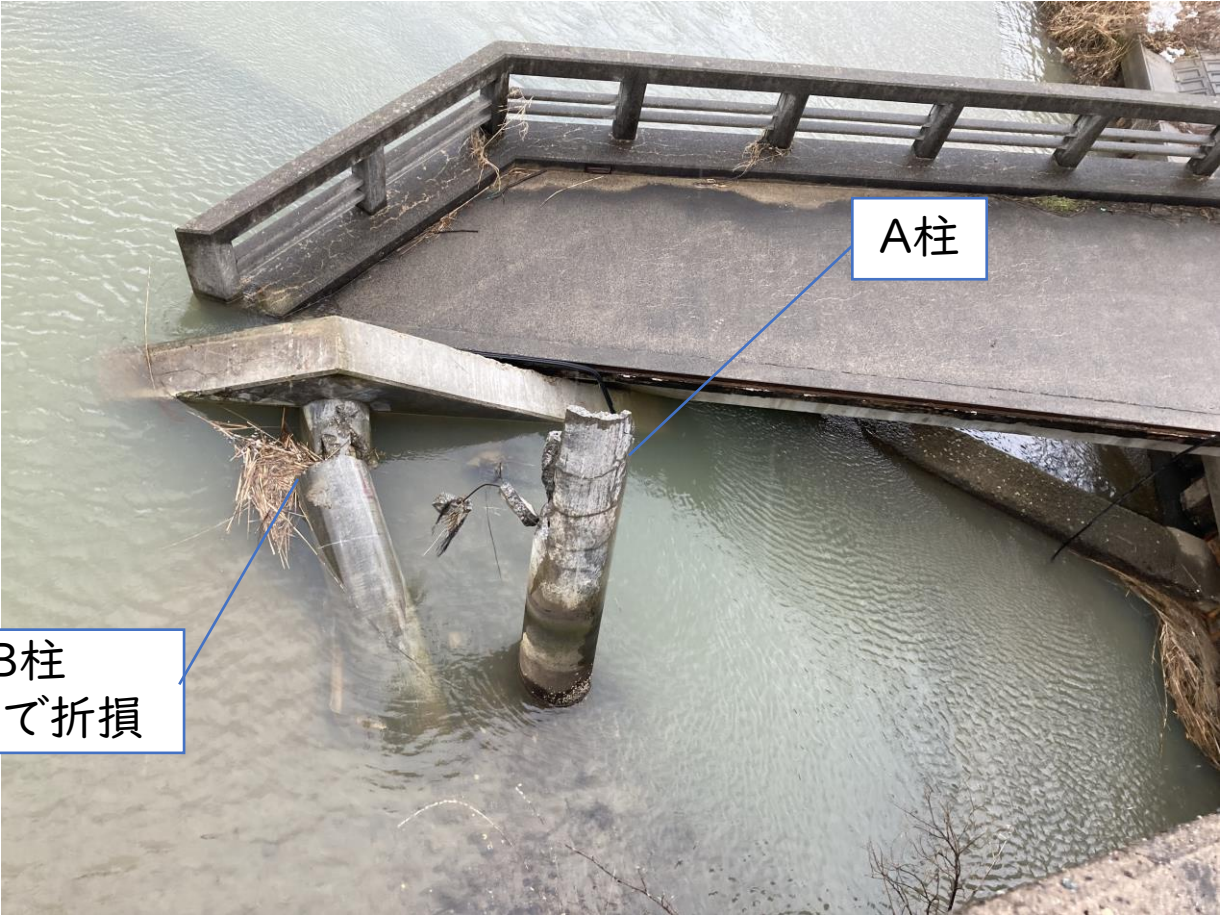
# 志賀町 道路橋拡幅部の落橋被害



# 志賀町 道路橋拡幅部の落橋被害

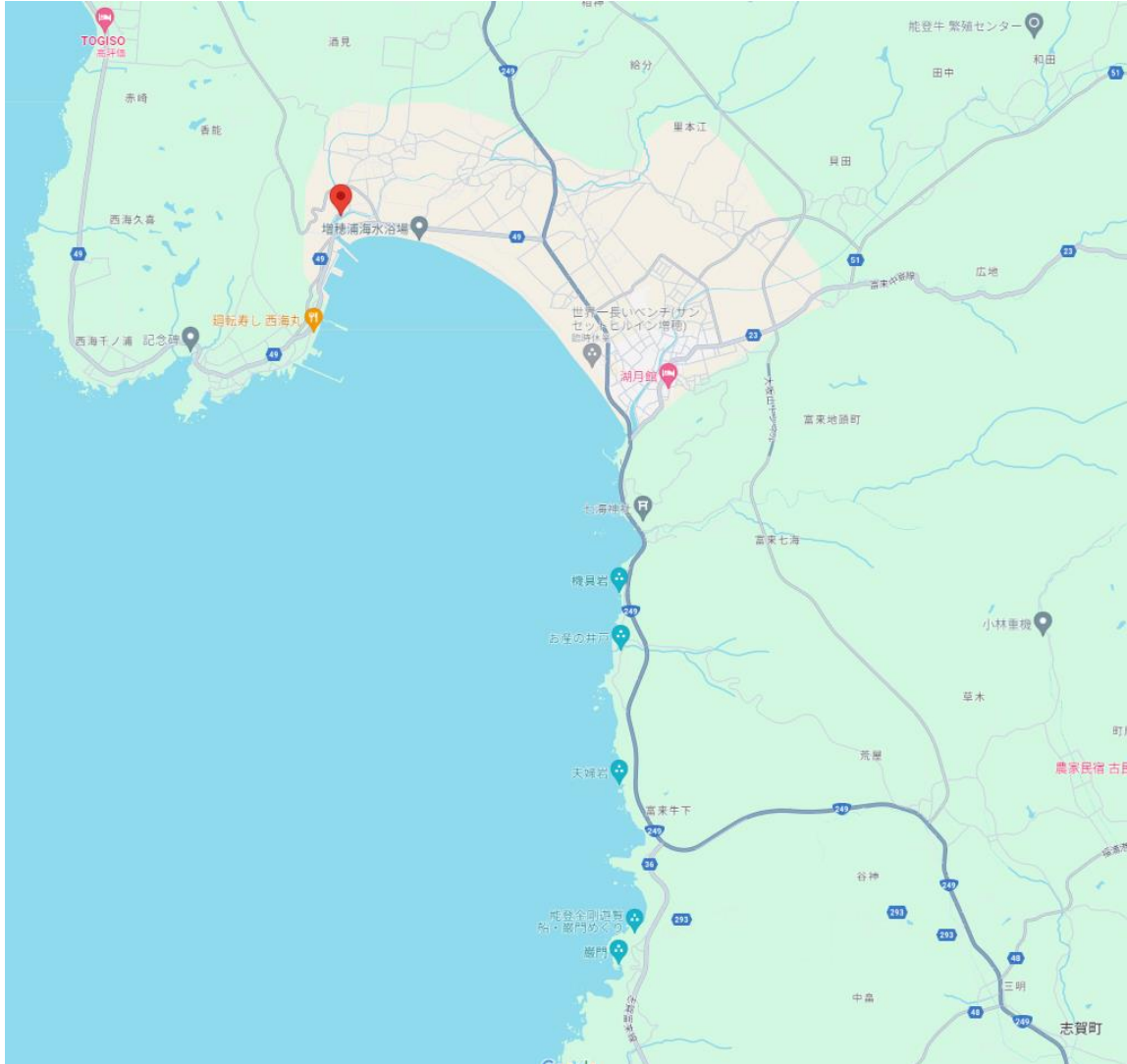


# 志賀町 道路橋拡幅部の落橋被害



# 所在地: 志賀町酒見地区 酒見川を渡る道路橋

37°09'05.8"N | 36°41'59.9"E



# 被災前Googleストリートビュー

